

産官学協働女性活躍推進事業【大阪府】

地域の実情と課題

大阪府では、女性の就業率が全国ワースト3と非常に低い水準にある。この水準を高め、女性にいきいきと活躍していただくことを目指し、大阪府では平成25年に庁内横断的なプロジェクトチームを、平成27年度に女性の活躍に関する庁内連絡会議を設置し、取組を進めているところ。また、産官学が協働し、オール大阪で女性の活躍推進の機運を盛り上げ、相互に連携・協力を進めるため、平成27年7月にOSAKA女性活躍推進会議を設置した。

女性活躍推進法制定により、女性の活躍推進の機運が高まる中、この機運を地域に定着させ、オール大阪での取組が進むよう、取組の充実・強化が求められている。

事業の特徴

- ・新たに9月を「OSAKA女性活躍推進月間」と定め、月間中に集中的にイベントを実施するとともに、府内市町村でも関連イベントを実施するなど、オール大阪で女性活躍推進に向けた機運醸成に取り組んだ。
- ・8月には「OSAKA女性活躍推進月間キックオフイベント」を開催し、タレントと知事によるトークセッションを実施。9月には核となるイベントとしてOSAKA女性活躍推進会議主催のシンポジウムを開催し、企業における女性活躍推進を応援した。
- ・他機関や企業主催の各種研修会等に府職員を派遣し、企業経営者への啓発活動を実施。それにより集積した取組事例等を基に各企業等が研修プログラムとして活用できるよう、冊子を作成した。

事業の効果

- ・9月の「OSAKA女性活躍推進月間」には、OSAKA女性活躍推進会議構成団体のみならず、府内市町村でも関連イベントを実施し、女性の活躍推進に向けた機運を醸成した。
- ・月間中に実施したOSAKA女性活躍推進会議主催のシンポジウムでは参加アンケートで約97%が「満足・やや満足」と回答(参加者:344人)。
- ・企業経営者等への意識啓発を通じて集積した取組事例等を啓発冊子等により情報発信していくことで、女性の能力を活かした取組を実施する企業の増加及び、女性活躍に向けた誘導ができた。

目的・目標

経済団体等との協働により、女性が輝く大阪に向けて経営者等の意識改革、情報発信等の啓発活動を充実・強化し、女性が能力を十分に発揮し、男女がともに将来に希望を持つことができる大阪をめざすため、下記事業を実施。

- (1) 企業経営者等の意識改革に向けた取組
① 女性活躍推進の機運を盛り上げる行事を開催、
② 経済団体・企業主催の各種研修会等に府職員を派遣、
③ 研修プログラム冊子の作成
- (2) OSAKA女性活躍推進会議の開催

連携団体

OSAKA女性活躍推進会議
大阪商工会議所
大阪府
大阪労働局
公益社団法人関西経済連合会
近畿経済産業局
日本労働組合総連合会大阪府連合会(連合大阪)
特定非営利活動法人南大阪地域大学コンソーシアム

今後の課題

大阪府の女性の就業率は依然として低い水準にある。
本事業を実施する中で、企業における女性活躍推進についての関心は高まってきているものの、具体的な取組方法について悩みを抱える企業が数多くあることが分かった。
今後は、OSAKA女性活躍推進会議と連携しながら、一般府民の意識啓発、企業経営者の意識改革などの取組を充実・強化していく必要がある。

事業の概要

産

[大商・関経連]

官

[労働局・近経局・大阪府]

OSAKA女性活躍推進会議

労

[連合大阪]

学

[南大阪コンソーシアム]

実施

企業経営者等の意識改革

OSAKA女性活躍推進月間(9月)

①OSAKA女性活躍推進月間キックオフイベント
OSAKA女性活躍推進月間シンポジウム

構成団体主催事業

構成団体主催事業

年間

②出前講座

③啓発冊子作成



OSAKAしごとフィールド女性活躍推進事業【大阪府】

地域の実情と課題

現在、大阪府には様々な相談機関があるものの、必要な人に必要な情報を横断的に提供するワンストップ機能がなく、分野横断的な相談に対応できていないのが課題である。

事業の特徴

女性の職業生活における活躍を推進するために、大阪府内にある各種相談機関のネットワーク化を図り、必要な人に必要な情報を届けるワンストップ相談機能の構築を図った。各種相談機関が拠点としての役割を担うことを目的にネットワーク形成を図ったことが事業の特徴である。

事業の効果

- ・今回の事業で、府内の各種相談機関とのネットワークが構築され、相談者がどの機関に相談に訪れても、たらい回しにされることなく適切な機関へ繋ぐことのできる体制が整った。
- ・勉強会を実施することによる相談員のスキルアップ
- ・合同相談会の開催による府民サービスの向上

目的・目標

OSAKAしごとフィールドに、「女性の働く支援コンシェルジュ」を配置し、各相談機関のネットワーク化や勉強会、合同相談会等を実施することで、各種相談機関の連携を深め、ワンストップ相談機能の構築をめざす。

目標：勉強会等の実施 年6回（実績：年8回実施）

合同相談会の実施年2回（実績：年2回実施）

支援のコーディネート、スーパーバイズ年間500人以上（実績：年間912人）

連携団体

◆OSAKAしごとフィールド女性活躍支援ネットワーク会議
構成員：OSAKAしごとフィールド、大阪福祉人材支援センター、大阪府商工労働部雇用推進室人材育成課、大阪府総合労働事務所、大阪府保育士・保育所支援センター、大阪府母子家庭等就業・自立支援センター、大阪府よろず支援拠点、大阪弁護士会、大阪労働局、関西圏国家戦略特区雇用労働相談センター、ドーンセンター

今後の課題

- ・各相談機関の相談員の更なるスキルアップ
- ・構築したネットワークの府民に対する周知
- ・勉強会や合同相談会の継続した運営

◆OSAKAしごとフィールド女性活躍支援ネットワーク会議構成員による、ネットワーク構築に向けた勉強会等の実施

- 第1回 平成28年 6月23日(各機関の事業に関する勉強会)
- 第2回 平成28年 7月20日(労働相談に関する勉強会等)
- 第3回 平成28年 8月22日(相談事例の共有等)
- 第4回 平成28年11月15日(ネットワーク強化のためのグループワーク)
- 第5回 平成28年12月16日(ひとり親家庭の支援に関する勉強会等)
- 第6回 平成29年 1月20日(起業や経営相談に関する勉強会等)
- 第7回 平成29年 3月17日(ワンストップ相談機能強化のための研修会)
- 第8回 平成29年 3月22日(相談員に対するスキルアップ研修)



ネットワーク強化のための
グループワーク

◆ワンストップ相談会の開催

- 第1回相談会 平成28年 9月15日
- 第2回相談会 平成29年 2月10日、11日



ワンストップ相談会の様子①



ワンストップ相談会の様子②